

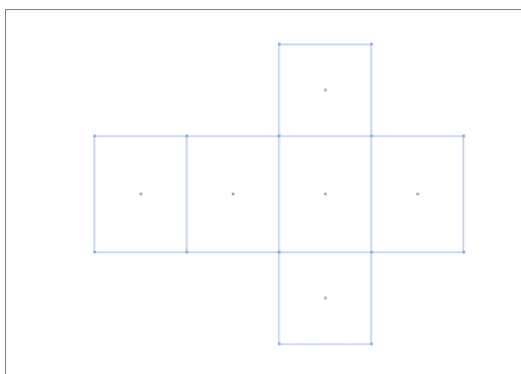
▶ 新規ドキュメントと各面の枠の作成

- 1 [ファイル] → [新規] でA3横のドキュメントを新規作成し、保存します。



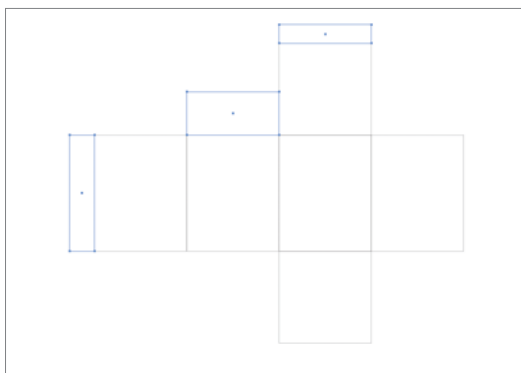
CS3ではドキュメントプロファイル「プリント」を選択してからA3横に変更する。CS2、CSではサイズとカラーモードを設定する

- 2 アートボード上にそれぞれの面の大きさに合わせて長方形を描画し、箱の展開図になるようにポイントスナップで角を合わせます。長方形のカラーは塗り：なし、線幅：0.1mmに設定しておきます。



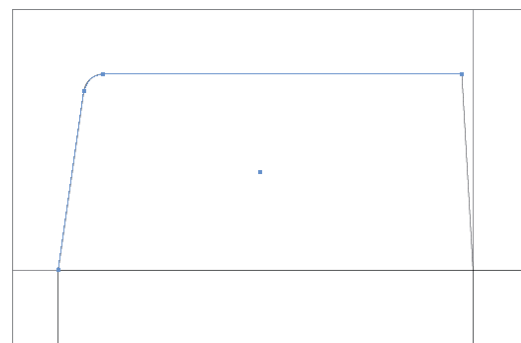
幅：74mm、高さ：93mmと幅：74mm、高さ：74mmの長方形を描画する。[表示] → [バウンディングボックスを隠す] で、バウンディングボックスを非表示にし、選択ツールでアンカーポイントを持って移動して、ポイントスナップで角を合わせる。[option] キーを組み合わせて、複製しながらポイントスナップを繰り返し、このような形にする

- 3 「フラップ」と「のりしろ」になる部分の長方形を描画します。2と同様にポイントスナップで角を合わせます。

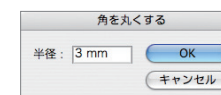


「フラップ」として幅：74mm、高さ：35mmと幅：74mm、高さ：15mmの長方形を描画し、ポイントスナップで角を合わせる。「のりしろ」として幅：20mm、高さ：93mmの長方形を背面の角にポイントスナップで合わせる

- 4 左右面の「フラップ」の形を整えます。角のアンカーポイントをダイレクト選択ツールで選択し、左は5mm、右は2mm内側に移動します。左上のアンカーポイントを[編集] → [カット]、続けて[編集] → [前面へペースト] します。[フィルタ] → [スタイライズ] → [角を丸くする] で半径3mmの角丸に変更します。

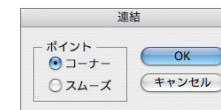


左上のアンカーポイントをダイレクト選択ツールで選択し、[移動]ダイアログで右に5mm移動する。同様に、右上のアンカーポイントを左に2mm移動する

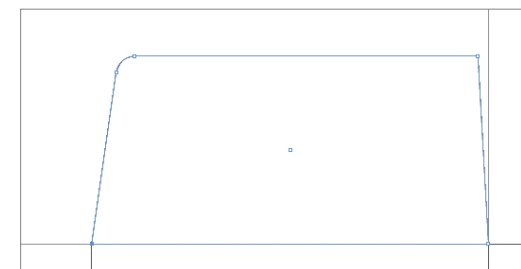


左上の角だけを丸くするために、長方形を半分に分けてから、フィルタを適用する

- 5 切り離れたアンカーポイントを連結します。ダイレクト選択ツールで右上の角をドラッグしてアンカーポイントを2つ選択し、[オブジェクト] → [パス] → [連結] でコーナーポイントとして1つのアンカーポイントに変換します。同じく左下の角も連結しますが、側面と背面のオブジェクトがあると、連結するアンカーポイントが選択しづらいので、[オブジェクト] → [ロック] → [選択] を使い、連結するアンカーポイントだけを選択しましょう。



同じ位置に重なる2つのアンカーポイントを選択し[連結]すると、1つのアンカーポイントになる

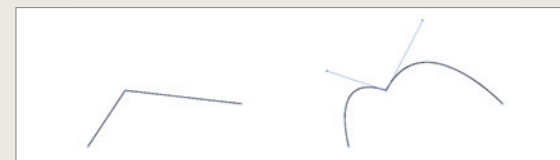


左下のアンカーポイントをコーナーポイントとして連結したら、[オブジェクト] → [すべてをロック解除] しておく

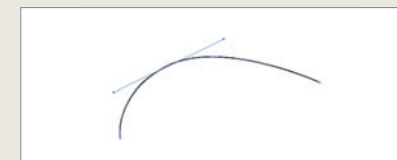
Memo 1 コーナーとスムーズ

アンカーポイントには、コーナーポイントとスムーズポイントの2種類があります。コーナーポイントは、角を作るアンカーポイントです。スムーズポイントは、曲線の途中にあり一直線の方向線を持つアンカーポイントです。ペンツールで

描画する場合、クリックで方向線のないコーナーポイントを作り、ドラッグでスムーズポイントを作ります。また、アンカーポイントの切り換えツールを使うことで、コーナーからスムーズへ、スムーズからコーナーへ変更できます。



コーナーポイントは方向線がない、または方向線が別の方向を向いている



スムーズポイントは方向線が一直線になっている